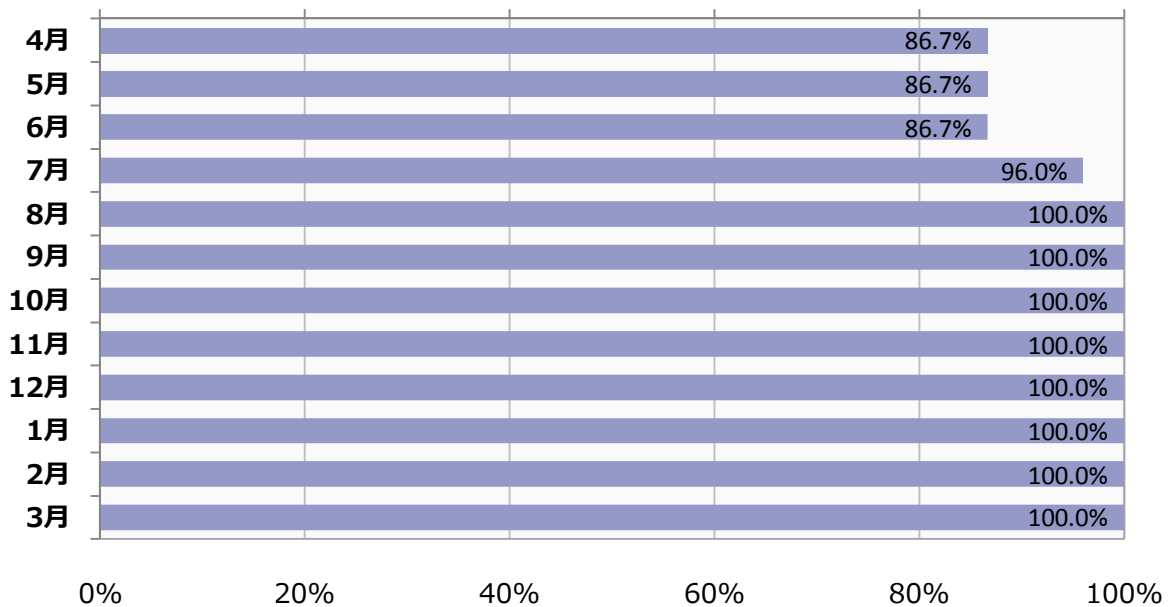


マンモグラフィ（乳房X線撮影）装置品質管理

マンモグラフィを用いた乳がん検診および乳房撮影において、適切に装置品質管理を行うことで、受診者は安全に検査を受けることができ、施設は精度の高いマンモグラフィ診断を提供することができると考えられます。

下記、マニュアル・ガイドラインは、適切な線量で品質の高い画像を常に得ることを第一目標に、X線発生装置の機能、性能、精度、そのメンテナンス、安全性はもちろん、受光系装置の精度、得られる画像、性能評価、フィルム・モニタを含めた読影環境に至るまで細かい品質管理を示しています。また、メーカーが行う保守点検、担当技師が行う日常管理や定期的な精度管理を実践し、チェックすることを実施頻度を含め要求されます。

「乳房撮影精度管理マニュアル」 日本放射線技術学会放射線撮影分科会



当院値の定義・算出方法

分子： 当施設で行っている品質管理項目: Pt. (ポイント)

○ (ガイドラインに沿って適切に行っている) : 3Pt.

△ (行っているが、ガイドラインに沿っていない部分がある) : 1Pt.

× (行っていない or ガイドラインに沿っていない) : 0Pt.

$\frac{\text{分子}}{\text{分母}} \times 100 (\%)$

分母： ガイドラインで示される品質管理項目

改善策について

2016年7月中旬に画像表示装置管理用ソフトが導入されたため、当院のマンモグラフィ装置は品質管理項目をすべて満たし100%となりました。

今後もより良い画像が提供できるように努めていきます。

文責：放射線部主任
楠木 克彰